

株式会社ワールドトラベル

取締役部長

スーザ・ミョータン氏  
INTERVIEW



特集「世界の注目を集めるミャンマー」の最後に、宮城で活躍するミャンマー人の方を紹介いたします。  
株式会社ワールドトラベル 取締役部長 スーザ・ミョータン氏は、日本に住むミャンマー人の生活等を支援するとともに、ミャンマーにおける人脈を活かし、日本企業のミャンマー進出等をサポートされています。  
まさに「日本とミャンマーを繋ぐ架け橋」と言える活動に尽力されている、スーザ氏にお話しをお伺いしました。

→ Q1

宮城で働くきっかけは何ですか？

**A** 両親と日本との繋がりで。第二次世界大戦中、両親は日本兵を助ける支援活動を行っていたほか、戦後も日本全国の慰霊巡拝団がビルマ(ミャンマーの旧国名)を訪問した際に、ビルマ側の代表として受け入れに携わっていたことで、日本に興味を持つようになりました。宮城県からの慰霊巡拝団の皆様との出会いもあり、慰霊巡拝団との繋がりのある旅行会社に約30年前に入社し、仙台で生活を始めました。その後、㈱ワールドトラベルに移り、現在に至っています。

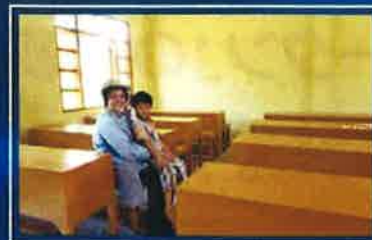
→ Q2

現在の仕事内容について教えてください

**A** ミャンマーへの慰霊巡拝や、経済視察、観光目的の手作りの旅の企画・営業・添乗が主な仕事です。慰霊巡拝は終戦から72年が経ち、今では殆どなくなりましたが、来年2月に宮城からはおそらく最後の慰霊団をミャンマーへ案内することとなっています。2011年の軍事政権から民政移行後は、宮城県内外の企業の経済視察でミャンマーを案内することが多くなりました。また、最近ではミャンマーからの大学生や外国人技能実習生のために、日本滞在中の通訳などのお世話をしているほか、ミャンマーに進出する日本企業向けのコンサルティング業務も行っています。



ミャンマー添乗時(一番右がスーザ氏)



→ Q3

ミャンマーへの支援にも積極的に取り組んでいると伺いましたが、具体的な活動状況を教えてください

**A** 20年前にミャンマーのマンドレー地区(ヤンゴンから北へ約700km)に、子供たちに夢と希望を与えることを目的に小学校を建設し、寄贈しました。そのことがきっかけとなり、戦争中にミャンマー人に助けられた元日本兵の方々の「感謝の気持ちを形にしたい」という思いに対し、ミャンマーへの学校建設・寄贈のサポートをしています。携わった学校建設は、現在15校となっています。

→ Q4

今後の目標は何ですか？

**A** 日本とミャンマーの架け橋として、これからも私の持てる力を惜みず発揮していきたいです。ミャンマーの未来を担う子どもたちのための支援は、私のライフワークとして続けていきます。また、ミャンマー・日本両国での経験と日本語能力を活かし、引き続き日本企業がミャンマーに進出する際の力になりたいと考えています。ミャンマーでのビジネスに対する考え方を共有できれば、沢山の可能性が生まれると思います。これからも宮城の人々と共に、常に前を向いて歩いていきたいと思っています。

C O L U M N

特定非営利活動法人

宮城・ミャンマー友好協会

戦争遺族をはじめ、ミャンマーに関心のある宮城県民を中心に、2013年4月に設立された協会で、スーザ氏は本協会の理事を務めています。2014年には、日本ミャンマー合作映画「血の絆」を上映し、

その入場券代を基にミャンマーでの学校を建設しました。そのほか、マラリア予防のためのワクチンを寄贈するなど、今後もミャンマーの子どもたちの明るい未来に資する活動を行っていく予定です。



寄贈した学校の開校式時

株式会社ワールドトラベル概要

<http://www.world-travel.co.jp/>

- 設立/1995年
- 本社/宮城県仙台市若林区卸町4-3-1
- 代表者/加藤 重雄

「現地の人にもまた会いたくなる旅行」を企画しております。ミャンマーやソロモン諸島をはじめ、世界各地への手作りの旅をご用意しておりますので、お気軽にご相談ください。